

< あなたの治療について >














婦人科 BV/PTX-卵巣-weekly

今回の治療は、BV/PTX療法という治療法で、パクリタキセル（PTX）とアバスチン（BV）という2種類の注射薬を併用して行います。パクリタキセルとアバスチンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目と15日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目	15日目	16~21日目
	アバスチン (抗がん剤) 15mg/kg	点滴 初回90分 2回目60分 3回目以降 30分		お休み	お休み	お休み	お休み	お休み
	レスタミン (アレルギーを抑える薬)	内服						
	デキサート ファモチジン (アレルギーの予防・ 吐き気止め)	点滴 約15分						
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分						
	パクリタキセル (抗がん剤) 80mg/m <sup>2</sup>	点滴 約1時間						

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

アバスチン・パクリタキセルについて

白血球数減少、好中球数減少 悪心 末梢神経障害 関節痛 脱毛

## 特徴的な副作用について

### アバスチンにおける

#### ショック・アナフィラキシー様症状

「顔が赤く熱くなる、皮膚が痒い、蕁麻疹がでる、唇や舌・手足がしびれる、くしゃみ・咳が出る、気分が悪い、心臓がドキドキする、尿意や便意を生じる、喉がつまる、息が苦しい、目の前が暗くなる」などの症状

**\* 投与時間は初回 90 分、2 回目 60 分、3 回目以降 30 分と短縮することがあります。**

#### 創傷治癒遅延

手術後の傷口の治りが遅れる

**\* 手術の後、手術を行う場合は医師に確認してください。**

#### 高血圧

高血圧になることがありますので、治療期間中は定期的に血圧を測定することが大切です

#### 脳出血

「鼻血、歯ぐきからの出血；青あざができる；痰に血が混じる；吐き気、嘔吐；頭痛、突然のひどい頭痛；顔や手足の片側がしびれる」などの症状

## パクリタキセルにおける

### 過敏症状

呼吸困難、胸痛、低血圧、頻脈、徐脈、潮紅、血管浮腫、発汗等

**\* パクリタキセルを点滴する前に過敏症の予防薬を使用します。**

### 刺激伝道障害

高血圧、低血圧、徐脈など

### 関節痛・筋肉痛

症状は一般に、投与開始後 2、3 日後にあらわれ、また、早期のクール(1～3クール目)より発現する傾向にあります。

### 末梢神経障害

「手足のしびれ感、灼熱感、痛み：物がつかみづらい、歩行時につまづくことが多い」などの症状

**\* しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

### アルコール過敏症

この薬は水に溶けにくいいため、アルコールを使って溶かしています。注射時のアルコール消毒で皮膚が赤くなる方、少量の飲酒で顔や全身が赤くなったり、具合が悪くなったりする方はお知らせください。

また、注射後、眠気やめまいなどがおこることがありますので、注射のあとは自動車の運転や危険を伴う機械の操作は避けて下さい。

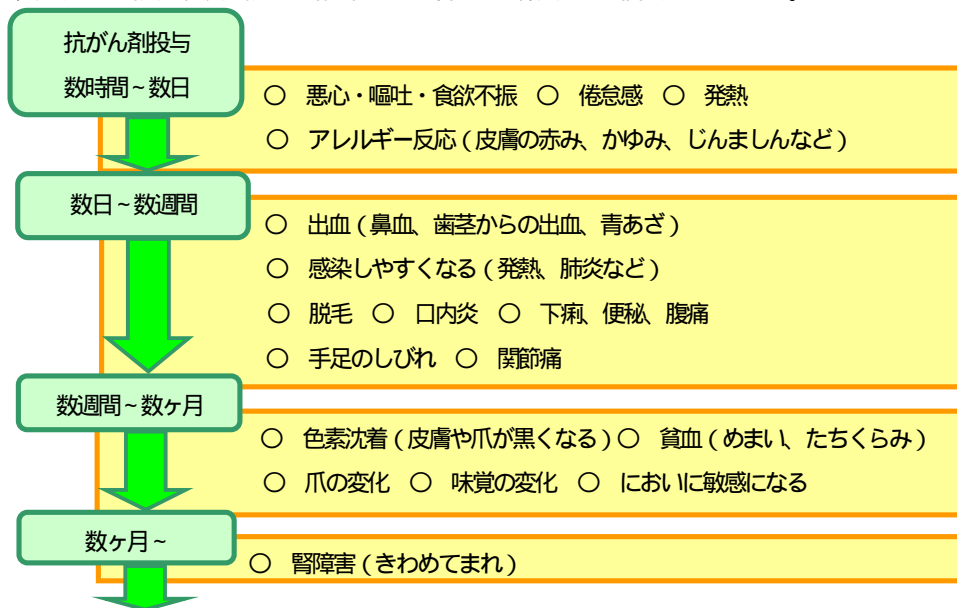
**\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの「副作用における対策」については、外来化学療法室にあります、別冊「抗癌剤治療ハンドブック」の15から28ページを参考にして下さい。

## 薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)

**まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

### 【アバステン】

<消化管穿孔>激しい腹痛、吐き気、おう吐、便秘、便に血が混じる(赤~黒っぽい便が出る)

<創傷治癒遅延>傷口が治りにくい、傷口が開く、傷口から出血する

<消化管出血>激しい腹痛、血を吐く、便に血が混じる(赤~黒っぽい便が出る)

<肺出血>痰に血が混じる、血を吐く

<脳出血>頭痛、吐き気、おう吐、片側の手足のまひ、強いしびれ、意識がもうろうとする

<脳血管発作、一過性脳虚血発作、脳虚血、脳梗塞>頭が重い、頭痛、吐き気、おう吐、しゃべりにくくなる、顔や手足のまひ、しびれ、めまい、意識がもうろうとする、視力が低下する

<心筋梗塞、狭心症>胸が痛い、胸が苦しい

<高血圧性脳症、高血圧性クレーゼ>頭痛、吐き気、意識がもうろうとする、けいれん

<可逆性後白質脳症候群>頭痛、ぼんやりする、ふらつき、覚えられない、物忘れ、けいれん、しゃべりにくい、見えにくい、眼のかすみ、明暗がわからない、意識がなくなる

<ショック、アナフィラキシー様症状>寒気がする、冷汗が出る、手足がしびれる、立ちくらみ、呼吸困難、胸が苦しい、発疹、じんましん、かゆみ、むくみ、口唇やのどがはれる、血圧が下がる

<粘膜出血>鼻血が出る、歯ぐきから出血する、膣から出血する

<深部静脈血栓症、肺塞栓症等の静脈血栓塞栓症>片方のふくらはぎが赤く腫れたり、ふくらはぎを押すと痛む、急に息苦しく感じたり、胸苦しさを感ずる

<ネフローゼ症候群>尿の量が減る、体がだるい、疲れやすい、尿が出にくい

<好中球減少症>熱が出る、体がだるい、のどが痛いなどのかぜのような症状

<うつ血性心不全>息切れがする、胸が痛い、胸が苦しい

## 【バクリタキセル】

<ショック、アナフィラキシー様症状>急に呼吸が困難になる、胸痛、血圧低下、脈が速くなるあるいは遅くなる、顔などがほてる、むくみ、発汗

<白血球減少等の骨髄抑制>熱がある、さむけがする、のどが痛い、咳が出る、排尿時痛、出血しやすい、血が止まりにくい、貧血

<末梢神経障害>手足の痺れ、服のボタンかけができない、手先の細かい作業に支障

<間質性肺炎、肺線維症>咳が続く、息苦しい、発熱

<急性呼吸窮乏症候群>急に呼吸が困難になる

<心筋梗塞、うつ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫>動悸、息切れ、胸痛、息苦しい

<難聴、耳鳴>聞こえにくい、耳鳴りがする

<消化管壊死、腸管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍>激しい腹痛、下血

<重篤な腸炎>激しい腹痛、下痢

<腸管閉塞、腸管麻痺>食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部膨満

<肝機能障害、黄疸>黄疸が出る

<膵炎>上腹部の激痛

<急性腎不全>尿が出なくなる、血尿が出る

<皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症>手足に輪状の紅斑、発熱、下痢、やけどのような症状

<播種性血管内凝固症候群>出血しやすい、血が止まりにくい

**上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

**他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。**